

薬剤部

【体制】（2024 年度 4 月 1 日現在）

部長 1 名・副部長 3 名・係長 5 名・主任 10 名・一般 34 名・嘱託 1 名：

合計 53 名（うち、産休等 1 名）

薬剤助手 6 名・薬剤補助員 1.4 名

2023 年度については、下記の事項を新たに取り組んだ。

- ・脳神経外科病棟における薬剤師による 1 包化指示・簡易懸濁指示入力を開始
- ・不眠症治療薬の院内フォーミュラリーの改定と
「不眠時における薬物療法のフローチャート」の作成
- ・アルツハイマー治療薬レカネマブの調製
- ・無痛分娩の麻薬調製

1. 処方箋枚数

外来院内処方せん枚数 年間 10,417 枚（1 日平均 29 枚）

外来院外処方せん枚数 年間 171,706 枚（1 日平均 470 枚）

院外処方せん発行率 94.3%

外来注射処方せん枚数 年間 21,651 枚（1 日平均 59 枚）

入院処方せん枚数 年間 114,548 枚（1 日平均 314 枚）

入院注射処方せん枚数 年間 149,627 枚（1 日平均 410 枚）

2. 無菌調製件数

中心静脈栄養調製件数 年間 3,026 件（月平均 252 件）

外来抗がん剤調製件数 年間 7,949 件（月平均 662 件）

入院抗がん剤調製件数 年間 3,485 件（月平均 290 件） *うち、休日ケモ 356 件

がん患者管理指導料 3 算定件数 年間 382 件（月平均 32 件）

がん化学療法登録レジメン数 813 レジメン

3. 薬剤管理指導業務

薬剤管理指導算定件数（2023 年 4 月～2024 年 3 月）

	2023/4	5	6	7	8	9	10	11	12	2024/1	2	3	総計
件数	1,981	2,139	2,227	2,181	2,163	1,990	2,222	2,082	2,144	2,145	2,115	2,255	25,644

4. 医薬品情報業務

- ・薬品情報の収集・管理及び医療スタッフへの情報伝達・提供
- ・製薬会社医薬品情報担当者との面談

5. 薬物血中濃度解析業務

治療域濃度と副作用発現濃度が近い薬物は、薬物血中濃度の測定により投与開始後の薬物濃度をモニタリングし、適正にコントロールする必要がある。当院では、抗菌薬のグリコペプチド系、アミノグリコシド系、抗真菌薬のポリコナゾールに対して治療初期から介入し、血中濃度の測定タイミングや測定結果を考慮した投与量調節のサポートを実施することにより、臨床的な有効性の向上かつ副作用の軽減に貢献している。

過去 5 年間血中濃度解析件数（2019 年度～2023 年度）

2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
502	398	338	476	538

6. 治験事務局業務

医薬品の承認申請を目標とする治験は、「医薬品の臨床試験の実施の基準に関する省令（GCP 平成 9 年 3 月 27 日、厚生省令第 28 号）」ならびに関連する通知等に基づき実施することが必要である。当事務局では、これらの治験が適切な基準（GCP）に従い実施されるよう治験施設支援機構や各部署と連携し、患者様へ安心して参加できる体制を整え、サポートを行っている。また、既存薬剤についての製造販売後調査や、副作用調査などに関する契約受付業務も実施している。

以下に、2023 年度の新規治験受託件数を示す。

Phase I : 0 件 Phase II : 0 件 Phase III : 6 件 （うち、医師主導治験 : 1 件）

7. 著作・学会・発表その他の研究活動

【学会】

- 1 小林 和博 症例から学ぶ細菌性肺炎 大阪抗菌薬倶楽部 2023/5/13(大阪市)
- 2 伊藤 俊和 医学研究所北野病院における院内フォーミュラリー策定とその効果 大阪市北区薬剤師会生涯教育研修会 2023/6/17(大阪市(Web))
- 3 尾上 雅英 実務家教員と病院実習を行っている病院の立場から 第 8 回日本薬学教育学会大会 2023/8/19-20(熊本市)
- 4 近藤 篤 悪性リンパ腫に対する治療の実際と外来化学療法時のチェックポイント 大阪市北区薬剤師会生涯教育研修会 2023/8/26(大阪市(Web))
- 5 尾上 雅英 病院薬剤師として一緒に成長していきませんか？ 薬学生のための病院研究フェア 2023/9/3(大阪市(Web))
- 6 近藤 篤 悪心・嘔吐に対する支持療法 大阪がん薬物療法研究会 2023/9/3(大阪市(Web))
- 7 近藤 篤 北野病院における薬薬連携に関する取り組み 守口・門真 薬薬連携セミナー 2023/9/28(守口市)
- 8 高橋 有、小林 和博、上田 覚、尾上 雅英 バンコマイシン塩酸塩点滴静注用欠品時の抗 MRSA 薬使用量動向調査 第 33 回日本医療薬学会年会 2023/11/3-11/5(仙台市)
- 9 尾上 雅英 医療経営大学院で学んだ病院薬剤師の立場から 第 33 回日本医療薬学会年会

2023/11/3-11/5(仙台市)

- 1 0 三宅 麻文 ポリファーマシー対策 地域一体化に向けた現状と課題～病院薬剤師の立場から～ 第 33 回日本医療薬学会年会 2023/11/3-11/5(仙台市)
- 1 1 勝 啓子 吸入手技説明・解説・ロールプレイング 第 17 回 吸入指導ネットワーク研修会 2023/11/18(大阪市)
- 1 2 三宅 麻文 2023 年度健康教育講演会「正しく知って正しく備える」 相愛高等学校 2023/11/28(大阪市)
- 1 3 酒井 美理 病院で働いている先輩から実際に話を聞こう 神戸薬科大学 第 2 回病院就活ガイダンス 2023/12/2(神戸市(Web))
- 1 4 小林 和博 結核と非定型肺炎を考慮した *Haemophilus influenzae* 肺炎の症例 感染制御薬剤師エキスパートミーティング 第 29 回研究会 2023/12/9(京都市(ハイブリッド))
- 1 5 近藤 篤 北野病院における薬薬連携に関する取り組み 薬薬連携セミナー in OSAKA 2023/12//13(大阪市)
- 1 6 安倍さつき、伊藤俊和、高橋有、尾上雅英 トレーシングレポートから見た、かかりつけ薬局による外来化学療法患者への介入傾向 第 45 回日本病院薬剤師会近畿学術大会 2024/1/27-28(和歌山市)
- 1 7 酒井美理、伊藤俊和、高橋有、安倍さつき、尾上雅英 医薬品情報の提供媒体から考える資源の適正使用～紙媒体から電子媒体へ～ 第 45 回日本病院薬剤師会近畿学術大会 2024/1/27-28(和歌山市)

【論文】

(原著論文)

- 1 北田徳昭*, ..., 尾上雅英, 退院支援関連業務への介入とアウトカム評価ー日本病院薬剤師会令和 3 年度学術第 2 小委員会アンケートからー *日本病院薬剤師会雑誌* 59(4), 401-407 2023(査読有り)
- 2 Dote S*, ..., Miyake M, Impact of prior bevacizumab therapy on the incidence of ramucirumab-induced proteinuria in colorectal cancer: a multi-institutional cohort study. *Int. J. Clin. Oncol.* 28(8):1054-1062 2023(査読有り)
- 3 三宅健文*, ..., 上田 覚, ... 令和 4 年度学術委員会学術第 1 小委員会報告 抗菌薬の適正使用にかかわる薬剤師の現状と課題解決に向けた研究(最終報告) *日本病院薬剤師会雑誌* 59(10), 1144-1148 2023(査読有り)
- 4 Kobayashi K, Hata A, ..., Ito T, Uenoyama K, Takahashi T, Ueda S, Katayama T, Onoue M, Takeya H*,
Evaluation of predictors of third-generation cephalosporin non-susceptibility and factors affecting recurrence or death in bacteremia caused by *Citrobacter freundii* complex, *Enterobacter cloacae* complex, and *Klebsiella aerogenes*. *J. Chemother.* 2024 Mar 7 : 11
<https://www.tandfonline.com/doi/full/10.1080/1120009X.2024.2323326> (査読有り)

(総説)

- 1 尾上雅英 実務家教員と病院実習を行っている病院の立場から 薬学教育受理2024(査読無し)

(症例報告)

- 1 谷口麻由加, 伊藤俊和, 樋口壽宏, 尾上雅英 *妊娠・出産によりラモトリギンの血中濃度変動したてんかん合併妊婦3例 日本病院薬剤師会雑誌 受理2024(査読有り)

【著書】

- 1 上ノ山和弥 23 脳血管疾患 薬剤師のための栄養療法管理マニュアル 医学書院 P277-285
2023 年発行
- 2 尾上雅英 編集後記 大阪府薬剤会雑誌 一般社団法人 大阪府薬剤師会 74(8).70 2023 年発行
- 3 尾上雅英 令和5年度 地域フォーミュラに関する研修会 大阪府薬剤会雑誌 一般社団法人大阪府薬剤師会 74(12), 23-25 2023 年発行

【研究】

- 1 電子カルテシステムを活用した医薬品の体内動態と薬効・副作用情報の体系的評価と薬物療法の最適化に関する研究
(薬剤師全員)
- 2 抗菌薬の使用状況に関する実態調査
(上田 覚、高橋 有、小林和博、宮本佳奈、尾上雅英)
- 3 抗がん剤の副作用発現に関する因子の探索
(水田純平、安部さつき、白川真美、上ノ山和弥、近藤 篤、宇佐美友佳子、柏井 琢、丸谷周平、三宅麻文、尾上雅英)
- 4 多剤併用高齢者に対する薬剤師介入と多職種協働による処方適正化について
(辻屋朝美、上ノ山和弥、日高貴生、河野正憲、和山 祐、永岡理沙、尾上雅英)
- 5 新生児期の薬物動態変動機構の解析 (新生児における酢酸亜鉛製剤投与後の血清亜鉛及び血清銅の推移に関する個体間変動要因の解明)
(伊藤俊和、尾上雅英)
- 6 免疫チェックポイント阻害薬使用中の腎機能変動に関する研究
(上ノ山和弥、尾上雅英)
- 7 Enterobacter spp. または Klebsiella aerogenes 菌血症に対する第3世代セファロスポリン治療の臨床評価および臨床転帰不良に影響を与える因子の探索
(小林和博、羽田敦子、高橋有、上田覚、上ノ山和弥、伊藤俊和、尾上雅英)
- 8 ラムシルマブ投与後の蛋白尿発現に及ぼすベバシズマブ前治療の影響に関する多施設共同研究
(三宅麻文)